

優勝者の感想文

ジュニアの部 優勝 

目白算数パズル道場 藍原 京史 (小6 / 東京)

「吾十有五にして学に志す。三十にして立つ。四十にして惑わず。五十にして天命を知る。六十にして耳順う。七十にして心の欲するところに従いて矩を踰えず。」と論語に書かれている。

今、僕は 11 歳だ。学を志すよりもまだ前の段階にいる。今僕のすべきことは何か。学を志すために自分の土壌を耕す時期だと母は言った。僕にとってその一つがパズル道場である。集中力・忍耐力・粘り強さを鍛え、算数のセンスを磨いて、僕の一部となっている。

積小為大。毎日の積み重ねが大きなことを成し遂げる。小さい頃からコツコツと毎日ベーシックトレーニングやマッハマンなどに取り組んできた結果があらわれた大会だった。

今回僕は不思議とほとんど緊張しなかった。すぐに緊張して手が震える僕に、こうした緊張感のある経験をとにかくたくさんすること、ずっとパズルの先生が僕に言ってくれていたことの意味がようやく分かった気がした。心も少しは強くなれたみたいだ。

3 回連続優勝。自分にとって最高の結果で小学生最後の全国大会を終えることができた。これが僕の豊かな土壌の一部となる。いよいよ次は一般の部での新たな挑戦が始まる。道のりは長い。でも挑戦し続けたい。

ありがとうございました。